



ビルの中などで、地震による火事が起こったときどうすれば助かるの

冷静に行動する

デパートや、ビルなどで火事が起こると、大混乱になります。火事が起こった階にもよりますが、ふつう、上の階にいる人のほうが、にげるのにたいへんです。

けむりにまかれて、にげられなくなり、焼け死んだりする人も、上の階にいる人のほうが多いようです。

今まで起こった火事で、あわてて窓などから飛び降りて、死んだりする人も、多くみうけられます。まわりのようすを見て、冷静に行動することが、大切です。

ゆかをはってにげる

デパートやビルの火事で、いちばんおそろしいのは、けむりにまかれることです。多くの人がなくなったりするのは、体に直接火がついて、焼け死ぬのではなく、にげるとちゅうでけむりをすって息ができなくなり、そのまま動けなくなるからです。

けむりでまわりが、いっぱいになってきたときは、ゆかに身をふせ、はってにげます。ゆかから、20センチメートルぐらいのところまでは、空気が残っています。また、かべぎわにも、空気が残っています。

けむりをさけて吸わないようにしながら、ゆかにぴったりと体をつけ、ゆかをはいながら進んでにげます。（監修・国司 真）

